

2024 年度白鷗大学入学式 学長式辞

本日、ここに2024年度学部・大学院入学式を挙げるにあたり、大学を代表して、新入生諸君、ならびに、ご家族の皆様に対し、心からお慶び申し上げます。

皆さんは、これから始まる大学生としての日々に対する希望を胸に抱き、さぞかしワクワク、ドキドキしておられることであらうでしょう。そして、大学院生としてより高い水準に挑戦しようとする皆さんは、高まる思いを胸に抱いておられるでしょう。私たちは皆様の新しい出発を祝うと共に、心から歓迎いたします。加えて、今日の晴れの日を心待ちにされ、長い間近くで見守ってこられたご家族の皆様にはそのお気持ちに対し、心からの敬意を表したいと思っております。

さて本日は、私の関心事である遊ぶということの意味を話したいと思っております。これまでよりも大きく深く学ぶための大学であり、学生の本分は勉強にありと普通は言われるのに、入学式で遊ぶことの話をする理由は、実は私たちの生活から遊びがなくなってきたからです。それはゆとりとか余裕がなくなってきたという意味でもあります。

車を運転する方々ならご存知だと思うのですが、車のハンドルには適度な遊びが必要と言われております。一般の車のハンドルは、少し操作しただけではすぐタイヤの方向が変わらないようになっています。これがハンドルの遊びなのですが、ではなぜ車のハンドルには遊びがあるのでしょうか？遊びがないとちょっとハンドルを切っただけでタイヤが動いてしまい非常に運転しにくいからです。また、一般道を走るとき道路の状況次第でタイヤが動き、その動きがハンドルに直接伝わってしまうとハンドルが常時震えてしまうからです。つまり、外の現実と私との間に遊びがないと事故につながりかねないので危険だということなのです。

同様に心にも遊びが必要でしょう。実はこの遊びの重要性が語られるようになったのは最近のことなのです。古語辞典では、音楽を奏し歌をうたうことなどが「遊ぶ」と書かれており、主に大人の行為を指していましたが、「ぶらぶらしている」「遊んでいる」には悪いこと、役に立たないこと、価値がないことなどの意味があったのですが、近年になって急激に様々な新しい良い意味が登場してきたのです。

最近の意味変化のいくつかの例を挙げるなら、第一に子どもの遊ぶことが一般常識になったことは大きな変化でしょう。第二に、英語のプレイなどの欧米語の影響で、遊びが健康や創造性の原点に位置づけられるようになってきたことが挙げられるのです。皆様は毎日のように聞く英語プレイヤーは、テニス・プレイヤー、ベースボール・プレイヤー、ギター・プレイヤーとかで乱発され、プレイグラウンド行われるプレイに関する外来表現は遊びの意味を変容させつつあるのです。

そしてどんな運動においても、あまりに真面目に試合に臨むよりも、少し余裕を持ってプレイしたほうが成績が良いという監督さんも多くなってきました。それで近頃は、選手たちが「頑張ります」と言うよりは「試合を楽しめます」と言う姿が度々見られるようになり、結果的にそのほうが実力を発揮できることが多いようです。

そして、遊びの反対語は働くこと、仕事をする事、勉強をすることです。そこで、遊びと仕事を比べてみると、遊びはやめられるものだし、飽きたら当然やめてもいいのです。仕事はいやでも続けねばならないことが多いのに対して、遊びは続けたりやめたりすることができ、遊びはやがて終わるものであって、いつまでも遊び続けることは困難です。プレイランド、テーマパーク、遊園地には一生住むことができないし、閉園時間になれば現実に帰らねばならないのです。

もしも遊びがやめられなくなって本気になる時、それは「うつつをぬかす」「おぼれる」「狂う」になって危険です。ゆえに遊びはほどほどで、熱狂するけれど、適当にやめることのできるというのが特徴だと思います。

だから今日ここには、受験勉強などで遊べなかったので、入学してから目一杯遊んでやろうと思っておられる方が多いかもしれません。しかし、遊びは時間が経つといつも終わるものであるということを忘れないでください。私は、健康や創造のためにも是非とも上手く遊んでほしいのです。

実は私のモットーは、うまく勉強から遊び、遊びから勉強へと切り替え、うまく使い分けることが一番楽しいという考えです。そしてその個性的なメリハリやケジメを身につける時期、遊びと勉強の間をわたりゆくことができるようになる時期、それが青年期であり大学生活だと思います。

皆さんは、本学のモットーである「プルス・ウルトラ」、すなわち、「さらに向こうへ、一步踏み出すこと」を意味するこの言葉をご存じでしょうか。今立つ場所を踏まえ、もう一步前に踏み出しましょう。より良い世界のために、明日のため、家族のために、見果てぬ夢の実現のために、うまく遊んでください。

今日から皆さんは見知らぬ人とたくさん出会い始めるでしょう。先生たち、同級生の方々、あるいはクラブ活動で。それらが遊びに満ちた交流の第一歩なのです。

だから今、ご入学おめでとうございますと申し上げ、その個性的なお一人お一人の人生への旅が充実したものとなることを心から祈りたいと思います。

2024年4月3日

白鷗大学 学長 北山 修